

60 継子とみみず

継子と継親がいたらしい。それであの、継親はね、自分の子はかわいがって継子は粗末に、あれだったでしょう。継子が盲人だったらしい。

親が継子に、みみずが置いてあるでしょう。みみずいっぱい持ってきてね、みみずそうめんといってよ、煮てね、この継子に、この目の不自由な継子に上げたつて、継親。そうしたらね、こりやもう食べれんでしょ。食べたらね、この目が開いてよ、立派になつてね、子の継子はね、順調に成長したつていうこともあるわけ。

字伊原 玉城ハル

類話

字糸満 玉城マシ